【Ｂ－０５】

平成２５年度研究科横断型教育プログラム（B タイプ）授業科目

開講方式	B タイプ（特別開講型）	研究科等名	ウイルス研究所	横断区分	理系横断型	開講場所	ウイルス研究所本館１階セミナー室（104 号室）
授業科目名（英訳）	レトロウイルス（Retrovirus）			講義担当者所属・氏名	ウイルス研究所 小柳義夫、松岡雅雄、五十嵐樹彦、三浦智行、宮沢孝幸		
配当学年	修士 博士後期 専門職	マコマ数	5コマ	開講期	６月１１日～７月１６日（ただし、６月１８日は除く）火５限（16:30-18:00）	授業形態	講義

〔授業の概要・目的〕

レトロウイルスは逆転写酵素を有する RNA ウイルスであり、セントラルドグマに反して RNA から DNA を合成する。このレトロウイルスが原因となる成人Ｔ細胞白血病やエイズの病因・病態の解明など、ウイルス研究所で進められてきた研究の成果も含め、レトロウイルス研究の歴史的経緯を振り返る。さらに、レトロウイルスと宿主の攻防や新しい治療薬の開発など、最新の知見を紹介する。また、サルエイズモデルの確立やコアラレトロウイルスの探究など、ヒト以外の動物研究により得られた最新の解析成果を紹介する。これらを通じて、レトロウイルスの正確な理解を深める。

【研究科横断型教育の概要・目的】
ウイルスの単離、同定から、それによって引き起こされる病気の解明、そして治療薬・予防ワクチンの開発まで、ウイルス研究のプロトタイプとして、レトロウイルス研究を領域外の学生にも分かりやすく説明する。また、レトロウイルス研究をウインドーとした生命科学の理解を通して、多くの専門分野の共通基盤となりうる授業を提供する。

〔授業計画と内容〕

小柳義夫 「エイズウイルスの出現と制圧の歴史：分子論的考察」
松岡雅雄 「ヒトＴ細胞白血病ウイルス１型が病気を起こす理由」
五十嵐樹彦 「サルモデルを用いたエイズ病態研究」
三浦智行 「レトロウイルスの起源と進化」
宮沢孝幸 「コアラレトロウイルスの探究」

〔履修要件〕

ウイルスや生命科学の一般的知識を有していることが望ましいが、必須ではない。

〔学修証授与の要件〕

全回出席、授業への積極的な参加とレポートの総合評価により、学修証を授与する。

〔教科書〕

とくになし

〔参考書等〕

とくになし

〔その他（授業外学習の指示・オフィスアワー等）〕

とくになし